

# 着脱ファンユニット発売

## メトロ電気工業

各種ヒーターの設計・製造を手掛けるメトロ電気工業（本社安城市横山町、川合誠治社長、電話0566・75・8811）は、こたつヒーターの代わりに取り付けて夏場のファンとして使用できる着脱式ユニットを開発した。テーブル下で360度送風でき、サーキュレーターとして空気を循環。冷房効率を向上させる。家電量販店や通販で、今夏は限定千台を販売する計画だ。

（安城・片桐芳樹）

# こたつを夏に有効活用

同社は、こたつのヒーターユニットを年150万台を生産し、国内シェア8割を誇る。一方で売り上げが季節で偏るため、夏向けの製品開発に着手。今回のファンユニットが第1号となる。

最近、家庭で夏場にこたつがテーブルとして使われ



こたつに簡単に取り付けができる着脱式ファンユニット「こたつファン」

【静岡】静岡市などほとんどのほど、清水港開港120周年の記念事業実行委員会を設立した。2019年8月に120周年の節目を迎えるのに合わせ、複数の記念事業を行う計画。清水港のPRの強化につなげる。

実行委員会は、清水港に関わる事業者や地元住民の代表、学識経験者、経済団体関係者、行政職員の20人で構成。会長には静岡商工

## 清水港120周年事業を計画 静岡市など実行委員会を設立



このほど実行委員会の設立総会を開いた。その後は静岡県の工業製品などの輸出を担い、地元産業発展を支えてきた。11年には国際海上輸送の拠点として「国際拠点港湾」に指定された。また、観光やレジャーのスポットとしても親しまれている。

【浜松】東京商工リサーチ浜松支店は、このほど、静岡県内の法人新設の動向調査結果をまとめた。それに伴って、昨年（2017年）に新設された法人は2381社と、前年に比べ4%増加した。法人新設の増加率は全国平均（3.1%増）を上回った。県内の景気回復を受け、起業の動きが活発化している。



- 三河支社  
岡崎市明大寺町 寺東5-3 鈴熊ビル  
電話 0564(52)2260  
FAX 0564(54)2336
- 刈谷支局  
刈谷市相生町2-11 佐藤会計ビル  
電話 0566(21)6106
- 三遠支局  
豊橋市萱町21 佐藤ビル3階  
電話 0532(54)2668  
FAX 0532(35)7100

ていることに着目。こたつのヒーターユニットが取り外しやすい構造であることから、夏は送風ユニットに取り換えるアイデアを形にした。

開発した「隠れfan（ファン）」は、29°角のユニットスペースに対応。DCモーターを独自開発し、シロッコファンの採用

と本体構造の工夫により、360度全方向でななめ下方に風が送れるようにした。

無段階で風量の調節ができる。耐衝撃性など安全面に配慮し、手入れもしやすい構造にしている。希望小売価格は7200円（税別）同製品の反響を見ながら来夏以降、本格販売に取り組み考えだ。

同社では「足元を効果的に涼しくできる。テーブル下の送風なので、書類などが飛ぶ心配がない。テーブルに人が集まり、家族だんらんにつながる」とアピールしている。